

日本各地の伝統・文化・観光情報を発信する 「日本産酒類PRブース」と「JAPAN SHOWCASE」

東京都メディアセンター（TMC）は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の期間中、国内はもちろん海外から訪れる多くのメディアに向け、様々な情報発信を行う取材拠点として開設された施設ですが、提供しているのはスポーツ競技に関するものだけではありません。「東京を知る、日本を知る」というテーマのもとに、日本全国の観光情報や日本文化の魅力についても多方面から発信していました。

TMCの3階フロアにあったのは、日本産酒類をPRする国税庁運営の「日本産酒類PRブース」です。2013年に日本食がユネスコの世界文化遺産に登録され、ヘルシーな食事として日本食が海外に広がる中で、日本酒、SAKEもまた世界に静かなブームを起こしています。人気の高まりとともに日本酒の輸出は量、金額ともに成長を続け、最大の輸出国であるアメリカに続き、韓国、中国、台湾、香港などアジアの国々だけでなく、イギリスやフランスなどのヨーロッパ圏でも大きく伸びています。

ここ日本産酒類PRブースでは、海外から訪れたメディアに向け、日本産酒類の紹介はもちろん、酒蔵取材を希望するメディアへの取材窓口の案内や、日本産酒類に関する様々な情報を詰め込んだメディアキットなどの配布を行っていました。このような行政官庁によるメディアPRの試みは珍しく、他の省庁も注目するPRブースとなりました。

日本産酒類PRブースに隣接するのは、日本政府観光局（JNTO）が運営する「JAPAN SHOWCASE」です。ここでは日本各地の自治体や団体が、週替わりで地域の魅力を発信するPRブースを設置し、多言語パンフレットなどにより各地の情報提供を行っていました。

また、常駐するブーススタッフは、日本語、中国語、英語を話し、海外メディアとのコミュニケーションもスムーズに行っていました。ブーススタッフが各地の自治体や団体スタッフをサポートしながら、日本全国の観光・文化の魅力を発信していました。



(令和3年9月作成)

問い合わせ先

記事に関する問合せ：東京都オリンピック・パラリンピック準備局総務部企画調整課

S1050104@section.metro.tokyo.jp

TMCに関する問合せ：政策企画局 政策調整部 政策調整課

S0014601@section.metro.tokyo.jp

<https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/cross-efforts/tokyo-media-center/>